

F.P.JOURNE Invenit et Fecit

ニューヨークに新たなメゾン F.P.ジュルヌがオープン



ニューヨーク、2023年5月2日 - F.P.ジュルヌは、2009年ニューヨーク、エレガントなマンハッタンのアップパーイーストサイドに構えていたブティックをソーホー地区のマーサー ストリート 53 番地に移転しました。

新たなブティックは 550 平方メートルの空間を誇り、コレクターや時計愛好家に、ブランドと高級時計への愛という共通の情熱に基づくユニークな出会いの場を提供します。

40 年以上にわたり、フランソワ-ポール・ジュルヌは精度の高い時計の発明と製作を行ってきました。F.P.ジュルヌの時計は、ジュルヌ自身の時計製作の理念に沿って製作され、真の時計愛好家を魅了し続けてきました。常に極めて高いレベルの卓越性の追求と独立性を求めて、ジュルヌは部品の製造、組み立てに留まらず、独自の国際的なブティックネットワークを構築し発表するコレクションを顧客に納品する為に必要な全てのプロセスを管理する事に成功しました。

そして、2003 年 F.P.ジュルヌ初の直営ブティックを東京・南青山にオープンしたのです。時計製作と同じように、フランソワ-ポール・ジュルヌは自らこれらの空間デザインを考えて発展させ、彼の哲学、倫理、そして「A.R.T.」を吹き込みます。

ジュネーブに本拠地を置く彼のマニュファクチュールの価値 (真正性、希少性、才能) は、時計製作の枠を超えています。香港、パリと国は違えども、コレクターは洗練された温かみの

ある装飾を備えたブティックを訪れる事で、このブランドと高級時計製造の世界に息づく、1本の同じ糸を感じ取る事が出来るでしょう。

ブランドのアイデンティティに沿って、誕生した新たなニューヨークのメゾンは、居心地の良いラウンジを備えた大きなバー、時計製造に関する多数の書籍を収めたライブラリーに加えて、クリエイターのコレクションを洗練されたデザインのショーケース越しにゆっくりとご覧いただけます。

展示スペースでは、ロサンゼルスブティックやマイアミメゾンと同様に、メキシコ系ブラジル人のアーティスト、カロライナ フォントゥーラ アルザガが制作した壮大なシャンデリアで飾られた大きな開口部に、来店された方々の視線が自然と引き寄せられます。2階にあるニューヨークメゾンは、エンターテイメントと芸術をさらに身近に感じて頂けます。居心地の良いキッチン、ワインセラー、そしてディナーやレセプションを開催できる一連の快適なソファとテーブルで区切られた広い部屋があります。このエリアの特徴は、ソーホー地区の産業の歴史を思い起こさせるようなアンティーク感のある外観の赤レンガの壁が保存されていることです。

2019年にマイアミで発足したメゾンのコンセプトは、初めてF.P.ジュルヌを訪れた人々の記憶に残る没入感を感じていただく事です。ビジターがニューヨークのメゾンに一步足を踏み入れると、フランソワ-ポール・ジュルヌの情熱と哲学を受け継いだ、ニューヨークチームが経験豊富な専門知識を駆使してご案内させていただきます。F.P.ジュルヌの価値観を反映し厳選されたテーマの時計製造イベントはもちろん、美食や珍しいお酒をお楽しみいただく等、ブランドにとって大切なテーマに沿った体験が年間を通じて企画されています。

Maison F.P.Journe New York
53 Mercer Street, NY 10013, New York
T: +1 212 644 5918 - ny@fpjourne.com